

地理院地図 Vector

操作マニュアル

2022年3月22日 更新

国土地理院

■更新履歴

更新日	更新内容
2019年2月8日	本マニュアルを作成
2020年3月13日	サイト改良に伴い本マニュアルを刷新
2021年3月22日	サイト改良に伴い本マニュアルを刷新
2022年3月22日	サイト改良に伴い本マニュアルを刷新

目次

機能概要	6
1. 操作パネル	7
1.1 おすすめの地図	7
1.2 表示中の地図	8
1.2.1 新しい地図デザインを作成	9
1.2.2 地図デザインファイルを読み込む	9
1.2.3 地図や写真を追加	10
1.2.4 地物一覧	11
1.2.5 地物を絞り込む	12
1.2.6 地図デザインファイルの保存	12
1.2.7 地物メニュー	12
1.2.8 ソート機能	13
例 1: 「3m 以上 5.5m 未満」の道路のスタイルを変更	13
例 2: 「19.5m 以上」の「通常部」の道路のスタイルを変更	14
1.3 スタイル編集画面	15
1.3.1 シンボル編集画面	16
表示するズームの変更について	17
テキストの編集について	17
アイコンの編集について	19
色の入力について	21
固定値、ズーム毎について	22
1.3.2 ライン編集画面	22

複数のラインの管理.....	24
1.3.3 ポリゴン編集画面.....	25
2. コンテキストメニュー.....	27
2.1 十字線位置の情報.....	28
2.2 クリック位置の情報.....	28
3. メニュー.....	29
3.1 ヘルプ.....	31
3.2 作図.....	31
3.2.1 マーカー（アイコン）を追加.....	32
3.2.2 マーカー（円）を追加.....	34
3.2.3 線を追加.....	35
3.2.4 ポリゴンを追加.....	36
3.2.5 円を追加.....	38
3.2.6 テキストを追加.....	39
3.2.7 フリーハンドで線を追加.....	41
3.2.8 ファイルから読み込み.....	42
3.2.9 外部からの読込.....	46
3.2.10 ファイルに保存.....	47
3.2.11 作図・ファイル情報の管理.....	48
3.3 計測.....	49
3.3.1 距離の計測.....	49
3.3.2 面積の計測.....	50
3.3.3 選択図形の計測.....	51

3.3.4 図形を複数選択して計測	51
3.4 断面図	52
3.5 外部タイル	54
3.6 印刷	55
3.7 画像として保存	56
表示されている範囲全体	56
範囲を固定	56
大きさを固定	57
4. 検索バー	58
5. 地図の回転をリセット	59
6. 地図右クリックメニュー	60
7. 自分で作る色別標高図	61
8. 空中写真の時系列切替え表示	63

機能概要

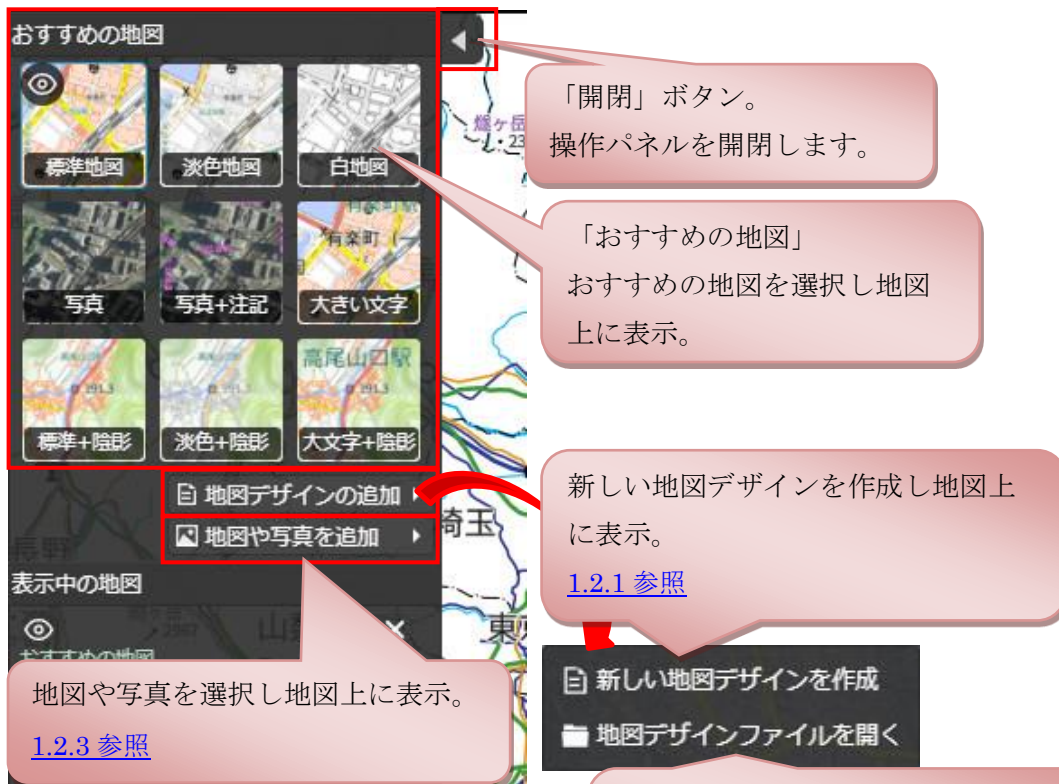
地理院地図 Vector（仮称）の画面構成は下記の通りです。図中に付番された部分については、下の表に、名称、簡易機能解説および詳細解説の場所を示しています。



No.	名称	簡易機能解説	詳細解説
①	操作パネル	おすすめの地図、表示中の地図情報等の表示（地物の表示／非表示の切替、表示スタイルの変更もこちらから）	1.
②	コンテキストメニュー	十字線位置の情報またはクリック位置の情報を表示 （住所、経緯度、標高、UTMポイント等）	2.
③	メニュー	メニューを開く	3.
④	検索バー	地名・住所・緯度経度等による検索	4.
⑤	地図の回転をリセット	地図の回転を元に戻す	5.
⑥	地図右クリックメニュー	地図を右クリックでポップアップメニューを表示します。	6.
⑦	ズームイン／ズームアウト	＋でズームイン、－でズームアウト	本項
⑧	スケールバー	地図中心緯度におけるスケールを表示	本項
⑨	方位記号	方位記号を表示	本項

1. 操作パネル

「開閉ボタン」をクリックすると、操作パネルの表示・非表示が切替わります。
「おすすめの地図」 ([1.1.参照](#)) で選択した地図が画面上に表示されます。



1.1 おすすめの地図

おすすめの地図を表示します。

サムネイル画像部分をクリックし選択すると、表示中の地図が消え、選択した地図が表示されます。

選択中の地図は、青枠と表示・非表示を表すアイコンが表示されます。

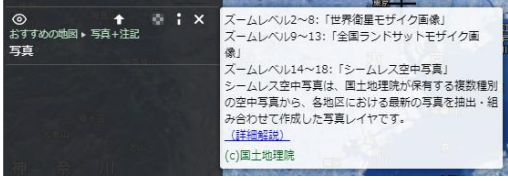


1.2 表示中の地図

現在選択されているレイヤの一覧が表示されます。



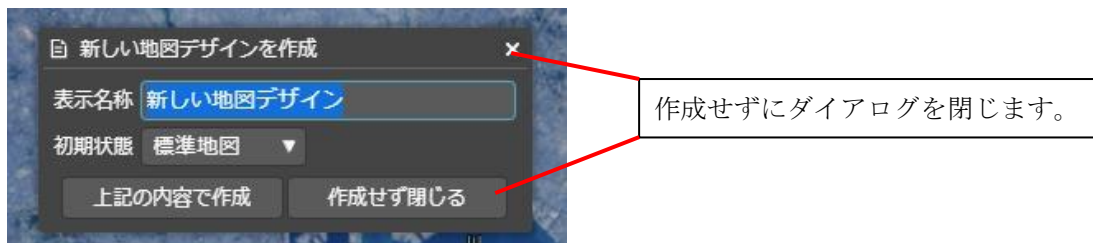
No.	名称	簡易機能解説	詳細解説
①	階層・名称	上部の比較的小さな文字が階層を表し、大きな文字がレイヤ名を表します。	本項
②	表示／非表示	アイコンをクリックすると、そのレイヤの表示／非表示を切替られます。	本項
③	レイヤ順を1つ上に変更	アイコンをクリックすると1つ上に移動できます。	本項
④	レイヤ順を1つ下に変更	アイコンをクリックすると1つ下に移動できます。	本項
⑤	透過率	クリック後に表示されるスライダーで、レイヤの透過率が設定できます。	本項

⑥	情報表示	レイヤの詳細情報をポップアップ表示します。 	本項
⑦	削除	対象のレイヤを「表示中の地図」から削除します。	本項
⑧	「編集」ボタン	クリックすると、地物の一覧をツリー状に表示します。 ※このボタンは編集可能なレイヤの場合のみ表示されます。	1.2.4
⑨	地図デザインファイルを保存	クリックすると地図デザインファイルを保存します。	1.2.6

1.2.1 新しい地図デザインを作成

「新しい地図デザインを作成」をクリックすると、「新しい地図デザインを作成」ダイアログが表示されます。

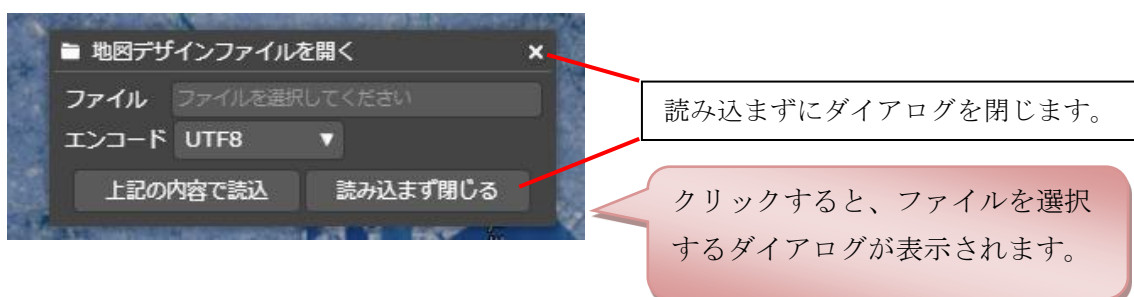
「表示名称」「初期状態」で表示するスタイルを選択し「上記の内容で作成」ボタンをクリックします。



1.2.2 地図デザインファイルを読み込む

「地図デザインファイルを開く」をクリックすると、「地図デザインファイルを開く」ダイアログが表示されます。

「ファイル」「エンコード」を選択し「上記の内容で読込」ボタンをクリックします。

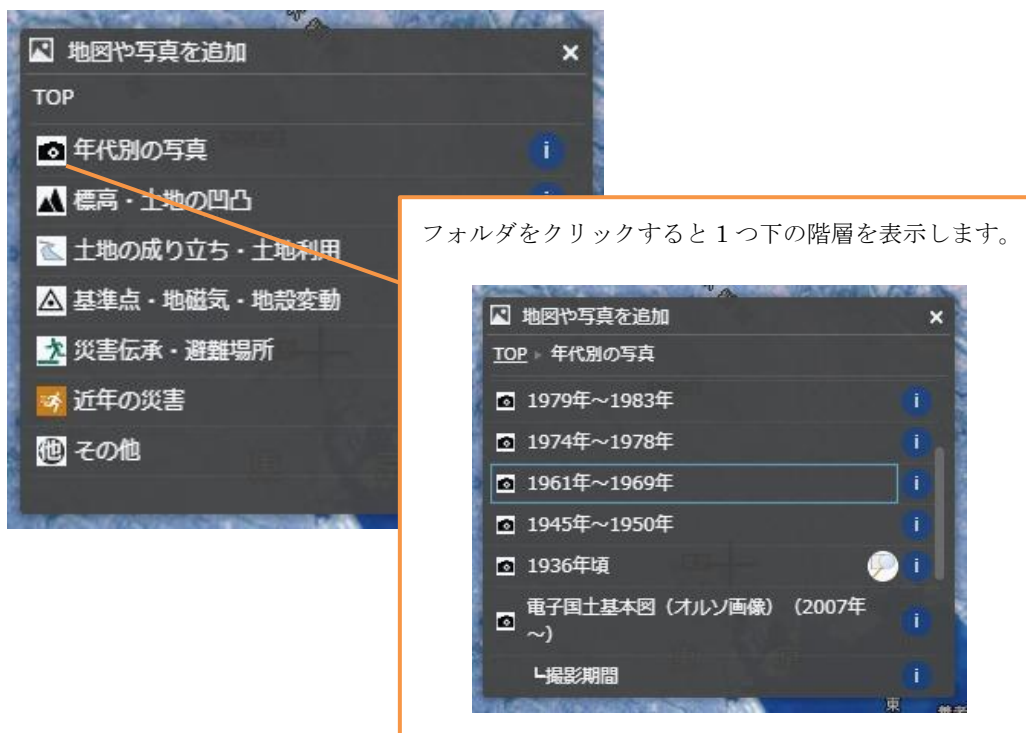


1.2.3 地図や写真を追加

レイヤを選択して表示します。

レイヤ名をクリックすると、地図上にそのレイヤが重ね合わせられます。

フォルダをクリックすると1つ下の階層を表示できます。



・表示ズームの案内について

レイヤを選択した際、その時点でのズームが選択レイヤの表示ズームレベルの範囲外であった場合に画面右下に表示ズームの案内が表示されます。

例

この情報はズーム15~18で表示されます。
なお、整備範囲が全国であるとは限りません。
 以後、この案内を表示しない

※一部レイヤでは、表示ズームの案内は表示されません。

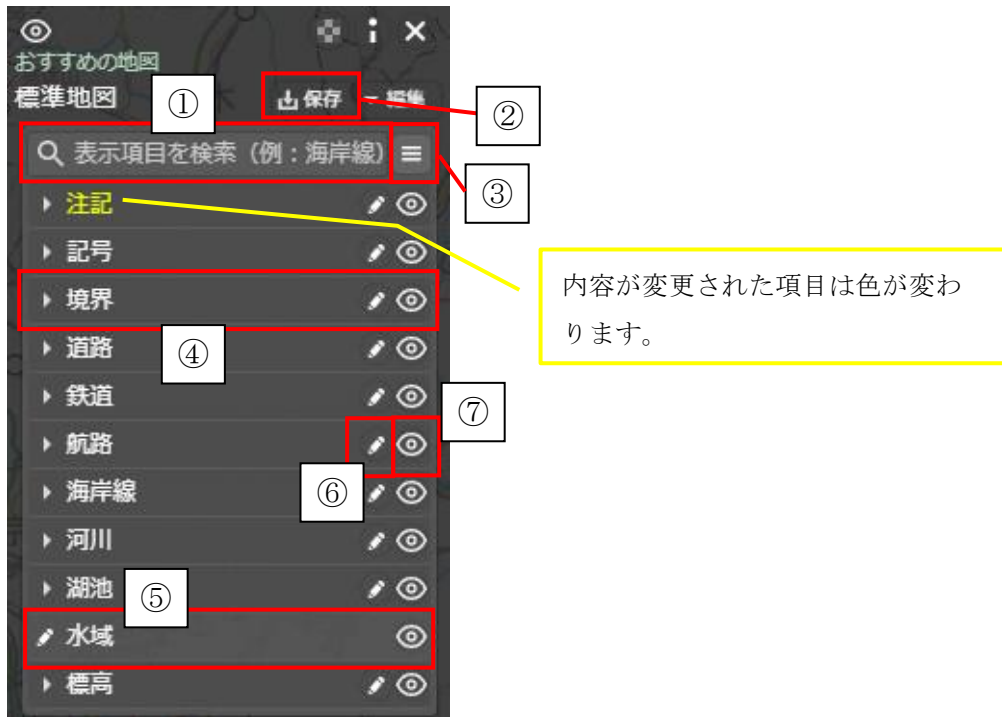
※表示ズームの案内は表示されてから3秒程度で自動的に消えます。

「以後、この案内を表示しない」チェックボックスを選択すると表示ズームの案内は表示されなくなります。

再度表示させたい場合は [3.メニュー](#) の「表示ズームの案内」を ON にすることで表示されます。

1.2.4 地物一覧

「編集」ボタンをクリックすると、対象のレイヤに含まれる地物一覧が表示されます。



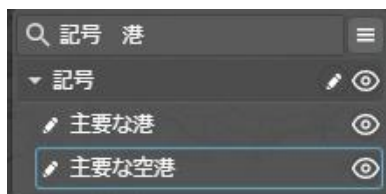
No.	名称	簡易機能解説	詳細解説
①	絞り込みワード入力	入力されたワードで地物一覧を絞り込む	1.2.5
②	保存	対象の地図デザインをファイルに保存	1.2.6
③	地物メニュー	メニューを開く	1.2.7
④	グループ	クリックすると、一つ下の階層の一覧を表示し、もう一度クリックすると閉じる	本項
⑤	地物	クリックすると、スタイルの編集画面を表示	1.3
⑥	まとめて編集	グループ以下のスタイルをまとめて編集する画面を表示	1.3
⑦	表示/非表示	対象の地物の表示非表示を切替 グループは含まれる地物をまとめて設定	本項

1.2.5 地物を絞り込む

絞り込みのワードを入力し、地物を絞り込みます。



全角、半角スペースで区切ると and 条件で絞り込みます。



1.2.6 地図デザインファイルの保存

「保存」ボタンをクリックすると、「地図デザインファイルの保存」ダイアログが表示されます。

「ファイル名」「表示名称」を入力し「上記の内容で保存」ボタンをクリックします。

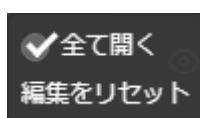


1.2.7 地物メニュー

地物に関するメニューを表示します。

「全て開く」をチェックすると、グループを表示せず、地物のみ並列に一覧表示されます。

「編集をリセット」をクリックすると、編集した内容がリセットされ編集前の状態に戻ります。



※「全て開く」チェック時の表示例



1.2.8 ソート機能

ズームレベル 11～16 で表示中に「道路」「鉄道」を指定した分類毎に並べ替えます。

例 1: 「3m 以上 5.5m 未満」の道路のスタイルを変更

The image shows two screenshots of a road style menu. The top screenshot shows the initial state where the 'Road' category is selected and the 'Lane Width' option is highlighted. The bottom screenshot shows the 'Lane Width' category expanded, with the '3m以上5.5m未満' option selected and its edit button highlighted.

① 「道路」のソートボタンをクリック

② 「幅員区分」をクリック
幅員区分ごとに表示されます。

③ 「編集」ボタンをクリック

例 2: 「19.5m 以上」 の「通常部」 の道路のスタイルを変更

① 道路のソートボタンをクリック

② 「幅員区分」 をクリック
幅員区分ごとに表示されます。

③ 「19.5m 以上」 のソートボタンをクリック

④ 「道路状態」 をクリック
「19.5m 以上」 の下が道路状態ごとに表示されます。

⑤ 「編集」 ボタンをクリック

1.3 スタイル編集画面

対象の地物の表示スタイルを編集します。

項目の値を編集すると、自動的に地図に反映されます。

各項目については、「[1.3.1 シンボル編集画面](#)」「[1.3.2 ライン編集画面](#)」「[1.3.3 ポリゴン編集画面](#)」を参照

地物名が表示されるエリアにマウスカーソルを乗せると、編集中のスタイルのスタイル名及びトップレベルの階層からの地物名がポップアップで表示されます。

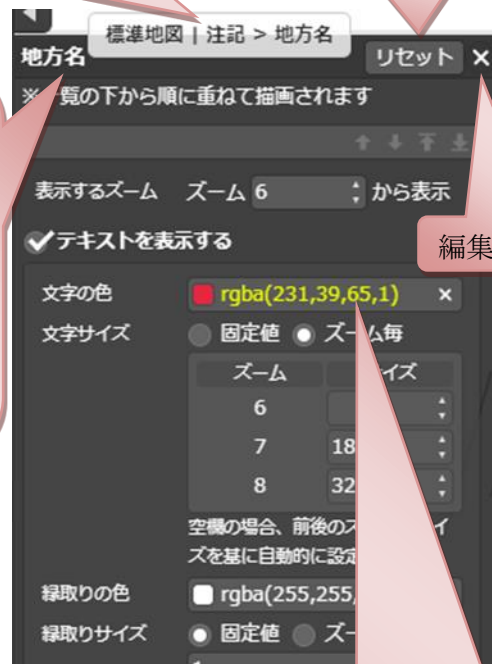
編集した内容を元に戻します。

現在編集中の地物名が表示されます。
グループをまとめて編集中は、代表の地物名と、赤字で含まれる件数が表示されます。

国名 ...他13件

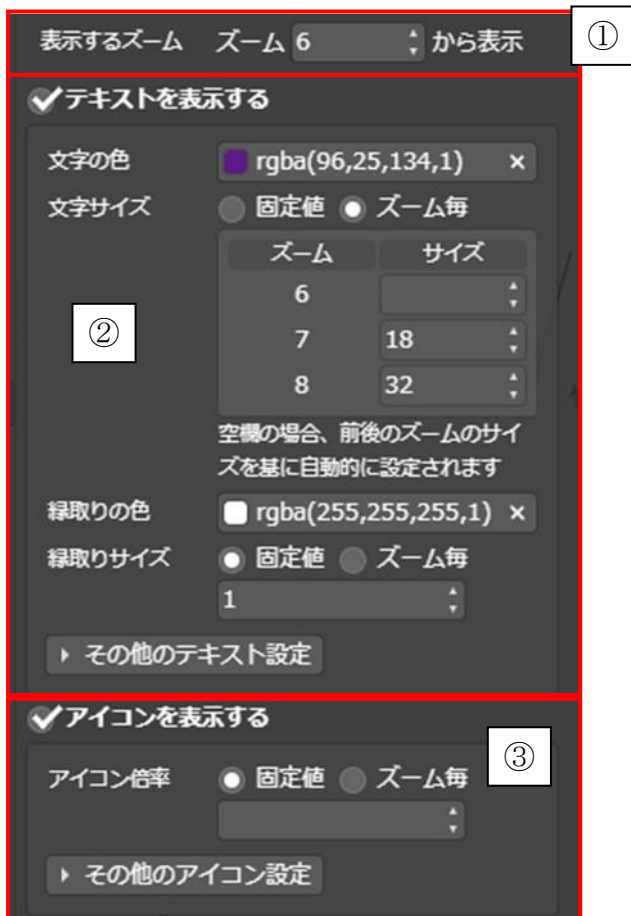
編集を終了します。

変更した項目は文字の色が変わります。



1.3.1 シンボル編集画面

シンボルのテキスト、アイコンのスタイルを編集します。



No.	名称	簡易機能解説	詳細解説
①	表示するズームの変更	表示するズームレベルを変更します。	表示するズームの変更について
②	テキストの編集	テキストのスタイルを編集します。	テキストの編集について
③	アイコンの編集	アイコンのスタイルを編集します。	アイコンの編集について

表示するズームの変更について

表示するズームレベルを変更します。

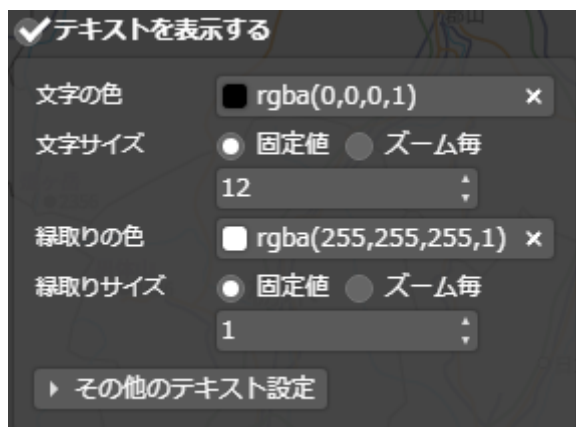
ズームレベルの値は読み込んだスタイルファイルで設定されている `minzoom` の値以上 `maxzoom` の値以下の範囲内で変更できます。

シンボルの場合テキスト、アイコンともに共通の表示するズームの設定となります。



テキストの編集について

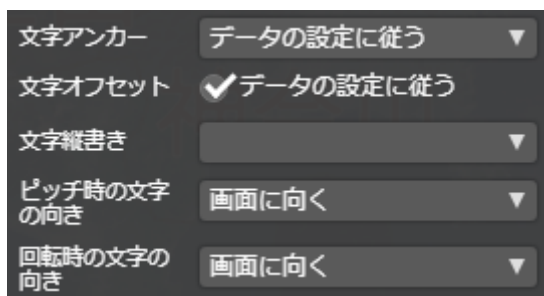
シンボルのテキストのスタイルを編集します。



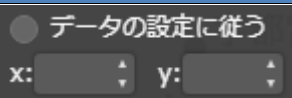
項目名	説明
テキストを表示する	対象のテキストを表示するか否か選択します。 (チェック状態で表示、チェック無しで非表示)
文字の色	文字の色を入力します。 以下の2つの形式に対応しています。 <code>rgba(0~255,0~255,0~255,0~1)</code> <code>rgb(0~255,0~255,0~255)</code> 「 色の入力について 」参照
文字のサイズ	文字のサイズを入力します。 「 固定値、ズーム毎について 」参照
縁取りの色	縁取りの色を入力します。 以下の2つの形式に対応しています。 <code>rgba(0~255,0~255,0~255,0~1)</code> <code>rgb(0~255,0~255,0~255)</code> 「 色の入力について 」参照
縁取りのサイズ	縁取りのサイズを0より大きい数値で入力します。
その他のテキスト設定	その他のテキスト設定を表示します。 「 その他のテキスト設定について 」参照

その他のテキスト設定について

「その他のテキスト設定」ボタンをクリックすると、設定項目が表示されます。



項目名	説明	
文字アンカー	文字のアンカー位置を選択します。	
	データの 設定に従 う	ベクトルタイトルのデータの指定に従いま す。 ※ベクトルタイトルにアンカーの指定があ る場合のみ、この選択肢が表示されます。
	中央	アンカーの位置を中央に設定
	左	アンカーの位置を、横書きの場合は左に、 縦書きの場合は中央に設定
	右	アンカーの位置を、横書きの場合は右に、 縦書きの場合は中央に設定
	上	アンカーの位置を、横書きの場合は中央 に、縦書きの場合は上に設定
	下	アンカーの位置を、横書きの場合は中央 に、縦書きの場合は下に設定
	左上	アンカーの位置を、横書きの場合は左に、 縦書きの場合は上に設定
	右上	アンカーの位置を、横書きの場合は右に、 縦書きの場合は上に設定
	左下	アンカーの位置を、横書きの場合は左に、 縦書きの場合は下に設定
右下	アンカーの位置を、横書きの場合は右に、 縦書きの場合は下に設定	
文字オフセット	文字のオフセットを指定します。	
	<input checked="" type="checkbox"/> データの設定に従う	「データの設定に従う」にチェ ックを入れた場合、ベクトルタ イトルのデータの指定に従いま す。

		「データの設定に従う」のチェックをはずした場合、アンカー位置からの距離を数値で入力します。
文字縦書き	文字の縦書き／横書きを選択します。 ※設定されていない場合、横書きになります。	
	データの設定に従う	ベクトルタイトルのデータの指定に従います。 ※ベクトルタイトルに縦書きの指定がある場合のみ、この選択肢が表示されます。
	縦書き	縦書きに設定します。
	横書き	横書きに設定します。
ピッチ時の文字の向き	ピッチ時の文字の向きを選択します。	
	自動	「回転時の文字の向き」で設定した値と同じ値になります。
	地図に張り付く	常に地図に張り付きます。
	画面に向く	常に画面の方向を向きます。
回転時の文字の向き	ロール時の文字の向きを選択します。	
	自動	「画面に向く」と同じ表示になります。
	地図に張り付く	常に地図に張り付きます。
	画面に向く	常に画面の方向を向きます。

アイコンの編集について

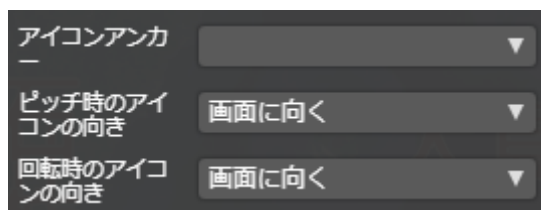
シンボルのアイコンのスタイルを編集します。



項目名	説明
アイコン倍率	アイコンのサイズ（倍率）を入力します。 「 固定値、ズーム毎について 」参照

その他のアイコン設定について

「その他のアイコン設定」ボタンをクリックすると、設定項目が表示されます。



項目名	説明	
アイコンアンカー	アイコンのアンカー位置を選択します。	
	中央	アンカーを画像の中央に設定
	左	アンカーを画像の、横は左、縦は中央に設定
	右	アンカーを画像の、横は右、縦は中央に設定
	上	アンカーを画像の、横は中央、縦は上に設定
	下	アンカーを画像の、横は中央、縦は下に設定
	左上	アンカーを画像の、横は左、縦は上に設定
	右上	アンカーを画像の、横は右、縦は上に設定
	左下	アンカーを画像の、横は左、縦は下に設定
右下	アンカーを画像の、横は右、縦は下に設定	
ピッチ時のアイコンの向き	ピッチ時のアイコンの向きを選択します。	
	自動	「回転時のアイコンの向き」で設定した値と同じ値になります。
	地図に張り付く	常に地図に張り付きます。
	画面に向く	常に画面の方向を向きます。
回転時のアイコンの向き	ロール時のアイコンの向きを選択します。	
	自動	「画面に向く」と同じ表示になります。
	地図に張り付く	常に地図に張り付きます。
	画面に向く	常に画面の方向を向きます。

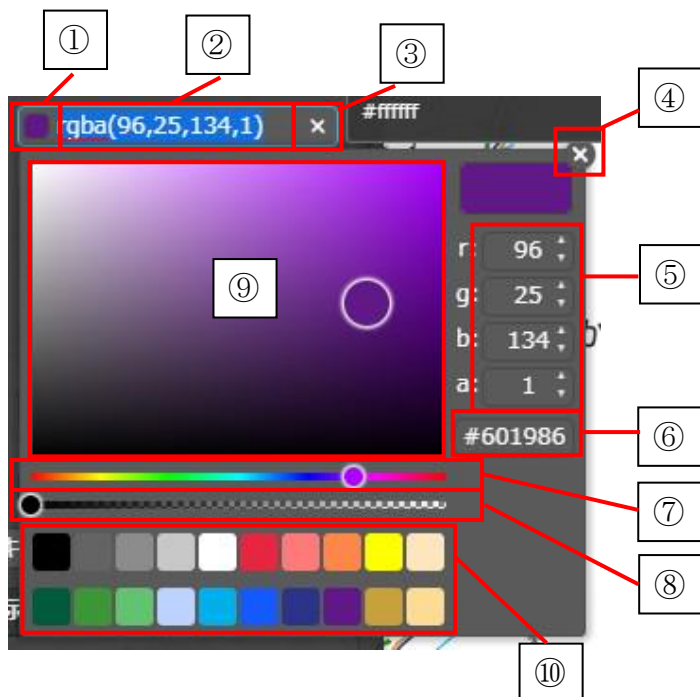
色の入力について

色の値を入力するか、カラーパレットから選択します。

値は以下の形式で入力して下さい。

rgb(赤 0～255,緑 0～255,青 0～255)

rgba(赤 0～255,緑 0～255,青 0～255,不透明度 0～1)



No.	説明
①	入力された色のプレビュー
②	色の値を入力
③	入力された値をクリアし、未入力の状態にする
④	カラーパレットを閉じる
⑤	RGBA 各要素の入力 R:0～255 G:0～255 B:0～255 A:0～1
⑥	色を 16 進表記で入力
⑦	色合いを指定するスライダー 右クリック、ドラッグで移動します。
⑧	不透明度を指定するスライダー 右クリック、ドラッグで移動します。
⑨	色を選択 右クリック、ドラッグで移動します。
⑩	利用したい色をクリックして選択します。

固定値、ズーム毎について

固定値は、ズームレベルに関係なく指定した値の大きさを描画します。

ズーム毎は、ズームレベル毎に指定した大きさを描画します。

「固定値」入力

「固定値」をクリック

固定値 ズーム毎

12

大きさを入力します。

「ズーム」毎入力

固定値 ズーム毎

ズーム	サイズ
4	1
5	
6	2
7	2.5
8	

ズームレベル毎に大きさを入力します。

空白の場合、前後のズームのサイズを基に自動的に設定されます。

空欄の場合、前後のズームのサイズを基に自動的に設定されます

1.3.2 ライン編集画面

ラインのスタイルを編集します。

複数のラインを重ねることも可能です。「[複数のラインの管理](#)」参照

線を表示

線色

表示するズーム から表示

線の幅 固定値 ズーム毎


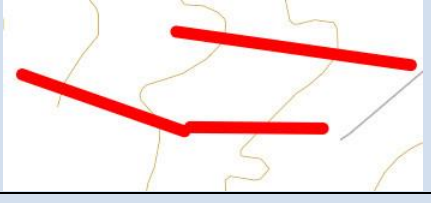
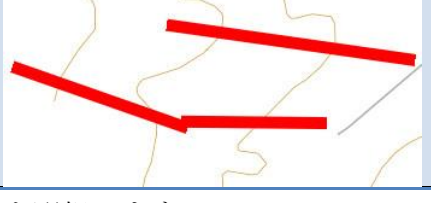

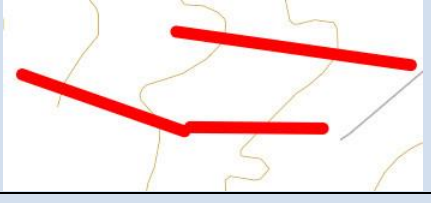
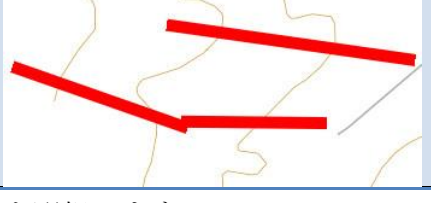

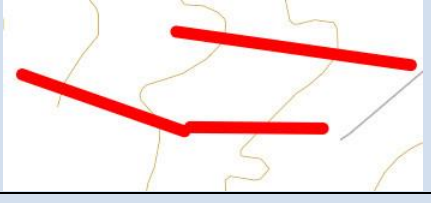
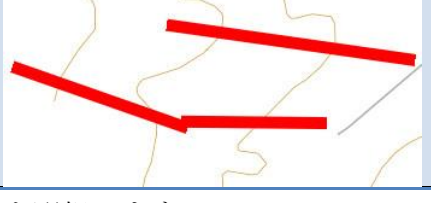
線の破線

オフセットの幅 固定値 ズーム毎

終端の形状

線の役割

項目名	説明
線を表示	対象の線を表示するか否選択します。

	(チェック状態で表示、チェック無しで非表示)						
線色	線の色を入力します。 以下の2つの形式に対応しています。 rgba(0~255,0~255,0~255,0~1) rgb(0~255,0~255,0~255) 「 色の入力について 」参照						
表示するズーム	表示するズームレベルを変更します。 ズームレベルの値は読み込んだスタイルファイルで設定されている minzoom の値以上 maxzoom の値以下の範囲内で変更できます。						
線の幅	線の幅を入力します。 「 固定値、ズーム毎について 」参照						
線の破線	破線の形状を指定します。 線の幅,空白の幅・・・の形式で入力します。						
オフセットの幅	線のオフセットを数値で入力します。						
終端の形状	線の終端の形状を指定します。 <table border="1" data-bbox="470 909 1268 1680"> <tr> <td>終端無し</td> <td>終端を切る </td> </tr> <tr> <td>半円</td> <td>半円がはみ出す </td> </tr> <tr> <td>線の幅の半分</td> <td>線の幅の半分の大きさはみ出す </td> </tr> </table>	終端無し	終端を切る 	半円	半円がはみ出す 	線の幅の半分	線の幅の半分の大きさはみ出す 
終端無し	終端を切る 						
半円	半円がはみ出す 						
線の幅の半分	線の幅の半分の大きさはみ出す 						
線の役割	通常の線か、枠線かを選択します。 枠線は順序を無視し下に表示されます。						

複数のラインの管理

ラインを追加・削除・描画順序の並べ替えを行います。
上に表示されているラインから順に重ねて描画されます。

新しいスタイルを追加します。

対象のラインを削除します。

対象を一番下に移動します。

クリックすると、追加位置の選択肢がポップアップ表示します。

このスタイルの上に追加
このスタイルの下に追加

対象を下に移動します。

対象を上に移動します。

対象を一番上に移動します。

The screenshot displays three instances of a line style configuration panel. Each panel includes a '線を表示' (Show Line) checkbox, a color selection (e.g., 'rgba(0,0,100,1)'), a zoom level (e.g., 'ズーム 11'), and various line properties like '線の幅' (Line Width), '線の破線' (Line Dashed), 'オフセットの幅' (Offset Width), '終端の形状' (Terminal Shape), and '線の役割' (Line Role). Callouts point to specific controls: the top-left panel shows the 'Add' (+) and 'Delete' (-) icons; the middle panel shows the 'Move Down' (↓) and 'Move Up' (↑) icons; the bottom panel shows the 'Move to Top' (↑) icon. A red box highlights a context menu that appears when clicking the 'Add' icon, offering 'このスタイルの上に追加' (Add to top of this style) and 'このスタイルの下に追加' (Add to bottom of this style).

1.3.3 ポリゴン編集画面

ポリゴンのスタイルを編集します。



項目名	説明												
塗り潰しを表示	対象のポリゴンを塗り潰すか否か選択します。 (チェック状態で塗り潰す、チェック無しで塗り潰さない)												
表示するズーム	表示するズームレベルを変更します。 ズームレベルの値は読み込んだスタイルファイルで設定されている minzoom の値以上 maxzoom の値以下の範囲内で変更できます。												
塗り潰し方法	塗りつぶし方法を選択します。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>通常</td> <td>単色で塗り潰します。</td> </tr> <tr> <td>左上から右下</td> <td>左上から右下への斜線で塗り潰します。</td> </tr> <tr> <td>右上から左下</td> <td>右上から左下への斜線で塗り潰します。</td> </tr> <tr> <td>クロス</td> <td>右上から左下へ、左上から右下への斜線で塗り潰します。</td> </tr> <tr> <td>点</td> <td>点で塗り潰します。</td> </tr> <tr> <td>横線</td> <td>横線で塗り潰します。</td> </tr> </tbody> </table>	通常	単色で塗り潰します。	左上から右下	左上から右下への斜線で塗り潰します。	右上から左下	右上から左下への斜線で塗り潰します。	クロス	右上から左下へ、左上から右下への斜線で塗り潰します。	点	点で塗り潰します。	横線	横線で塗り潰します。
通常	単色で塗り潰します。												
左上から右下	左上から右下への斜線で塗り潰します。												
右上から左下	右上から左下への斜線で塗り潰します。												
クロス	右上から左下へ、左上から右下への斜線で塗り潰します。												
点	点で塗り潰します。												
横線	横線で塗り潰します。												
塗り潰し色	塗り潰しの色を入力します。 以下の2つの形式に対応しています。 rgba(0~255,0~255,0~255,0~1) rgb(0~255,0~255,0~255) 「 色の入力について 」参照												
枠線を表示	対象のポリゴンの枠線を表示するか否か選択します。 (チェック状態で表示、チェック無しで非表示)												
枠線の色	枠線の色を入力します。 以下の2つの形式に対応しています。 rgba(0~255,0~255,0~255,0~1)												

	rgb(0~255,0~255,0~255) 「 色の入力について 」参照
枠線の幅	枠線の幅を 0 より大きい値の数値で入力します。
枠線の破線	枠線の破線の形状を指定します。 線の幅,空白の幅・・・の形式で入力します。

2. コンテキストメニュー

地図上の「十字線位置の情報」「クリック位置の情報」（住所、経緯度、標高、UTMポイント、ズームレベル、地物）を表示します。

The screenshot shows the GSI Vector Map interface. A context menu is open over a map of Tokyo, displaying information for '東京都千代田区日比谷公園' (Hibiya Park, Tokyo). The menu items include: 住所 (Address), 位置 (Location), UTMポイント (UTM Point), 標高 (Elevation), 湖水深 (Lake Depth), 全国最新写真 (National Latest Photo), and 撮影期間 (Shooting Period). A callout box explains that clicking an item shows details and that clicking '編集' (Edit) shows an edit screen. Another callout points to the '表示値の説明' (Explain Value) button, stating it opens a new window with the explanation page. A white arrow on the map points to the context menu, with a callout saying '白い矢印をクリック' (Click the white arrow).

地物情報。
項目名をクリックすると詳細が表示されます。「編集」ボタンをクリックすると編集画面が表示されます。

表示値の説明
表示値の説明ページ（下記）を新しいウィンドウで開きます。

白い矢印をクリック

項目	説明
住所	地図の中心付近の住所です。
○度○分○秒 ○度○分○秒	地図の中心の緯度・経度が「度」「分」「秒」単位で表示されます。
○.○, ○.○	地図の中心の緯度・経度が「度」の十進表記で表示されます。
ズーム	表示している地図のズームレベルです。
UTM ポイント	地図の中心の UTM ポイントです。
標高	地図の中心の標高値です。
湖水深（湖底標高、基準水面標高）	湖水深（湖底標高、基準水面標高）です。 （湖沼データが表示されている時のみ）
全国最新写真（シームレス） 撮影期間	全国最新写真（シームレス）撮影期間です。 （全国最新写真（シームレス）が表示されている時のみ）

表示値について、詳しくは以下のページをご覧ください。

「地理院地図で得られる値等について」 <https://maps.gsi.go.jp/help/howtouse.html>

2.1 十字線位置の情報

「十字線位置の情報」ボタンをクリックすると、十字線の位置の情報を表示します。



2.2 クリック位置の情報

「クリック位置の情報」ボタンをクリックすると、地図上のクリックされた位置の情報を表示します。



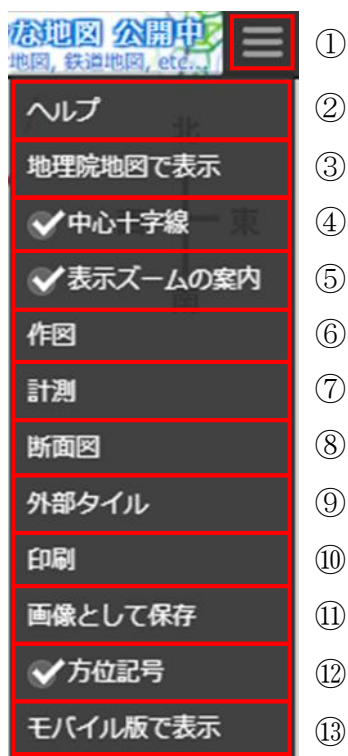
地図上をクリックすると、その位置にアイコンが表示され情報が表示されます。



3. メニュー

画面右上の「メニュー」ボタンをクリックすると、ポップアップで選択肢が表示されます。それぞれの項目については下記の通りです。図中に付番された部分については、下の表に、名称、簡易機能解説および詳細解説の場所を示しています。

PC版



モバイル版

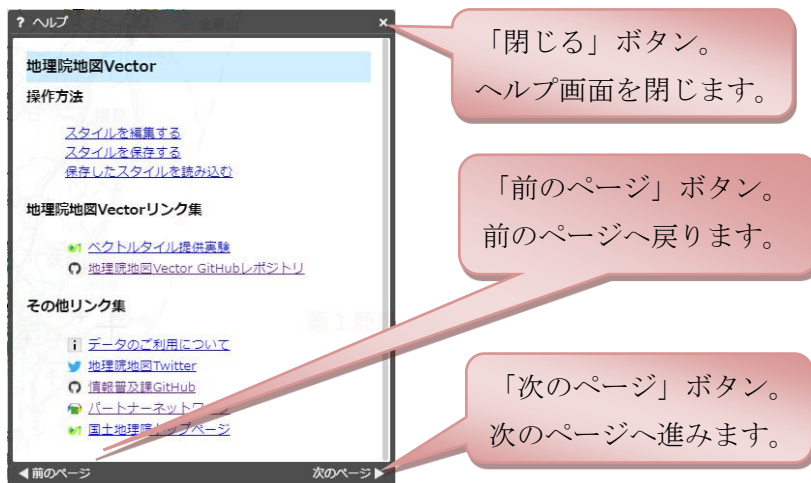


No.	名称	簡易機能解説	詳細解説
①	メニュー表示ボタン	メニューを表示	本項
②	ヘルプ	ヘルプを表示	3.1
③	地理院地図で表示	地理院地図を表示	本項
④	中心十字線	中心十字線の表示・非表示を切替	本項
⑤	表示ズームの案内	表示ズームの案内の表示・非表示を切替	本項
⑥	作図	作図ウィンドウを表示	3.2
⑦	計測	計測ウィンドウを表示	3.3
⑧	断面図	断面図ウィンドウを表示	3.4
⑨	外部タイル	外部タイルウィンドウを表示	3.5

⑩	印刷	印刷ページに遷移 ※PC版のみ	3.6
⑪	画像として保存	画像として保存ウィンドウを表示 ※PC版のみ	3.7
⑫	方位記号	方位記号の表示、非表示を切替 ※PC版のみ	本項
⑬	モバイル版/PC版で表示	PC版の場合、モバイル用地図を表示 モバイル版の場合、PC用地図を表示	本項

3.1 ヘルプ

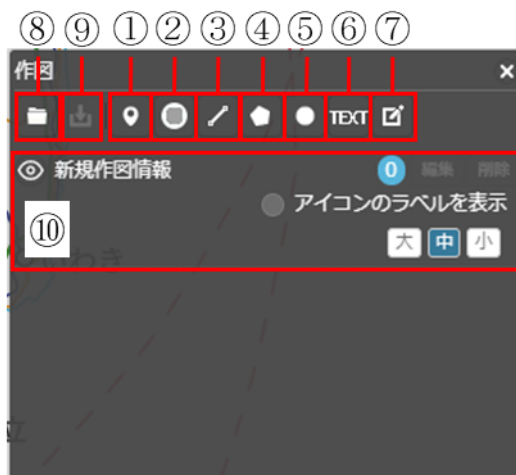
メニューの「ヘルプ」をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。



3.2 作図

メニューの「作図」をクリックすると、右図のような作図ウィンドウが表示されます。ファイルの読込・保存、作図の各操作は、作図ウィンドウで行います。

作図・ファイルパネルは、次の要素で構成されます。



No.	名称	説明
①	マーカー（アイコン）を追加	点（アイコン）を追加します。
②	マーカー（円）を追加	点（円形マーカー）を追加します。
③	線を追加	線を追加します。
④	ポリゴンを追加	面（多角形）を追加します。
⑤	円を追加	面（円）を追加します。
⑥	テキストを追加	テキストを追加します。
⑦	フリーハンドで線を追加	フリーハンドで線を追加します。

⑧	ファイルから読み込み	ファイルを読み込み表示します。
⑨	ファイルに保存	作図情報をファイルに保存します。
⑩	作図・ファイル情報の管理	作図・ファイル情報の表示／非表示の切替や編集を行います。

3.2.1 マーカー（アイコン）を追加

次の手順で操作します。

- (1) 「マーカー（アイコン）を追加」ボタンをクリックします。
- (2) アイコンを配置したい場所を地図上でクリックすると、その場所にアイコンが配置されます。
- (3) マーカー（アイコン）の情報入力画面が表示されるので、アイコンのスタイルと吹き出しに表示する内容（属性情報）を入力し「OK」ボタンをクリックします。吹き出しに表示する内容の入力の詳細については後述します。



- (4) 複数配置したい場合は(2)(3)を繰り返します。
- (5) 「マーカー（アイコン）を追加」ボタンをクリックすると、終了します。

※吹き出しについて

点や線等のオブジェクトに属性情報を入力すると、地図上でそのオブジェクトをクリックした時に吹き出しの中に表示されます。



※吹き出しに表示する内容（属性情報）の編集について

オブジェクトを追加するとその編集画面が表示されます。下図のように、編集画面の下方で属性情報が編集できます。なお、項目名は重複しないように入力してください。

吹き出しのタイトルに表示される名称を入力します。

自由文入力に切替

項目名	値
(例:営業時間)	(例:10時~18時)
(例:営業時間)	(例:10時~18時)

表から自由文への切り替えを行います。

この下に1行追加します。

この行を削除します。

自由文から表への切り替えを行います。

テーブル入力に切替

※アイコンのラベル表示内容切り替えについて

「アイコンのラベルを表示」チェックボックスを選択すると項目名のプルダウンリストが表示されます。ラベルに表示させたい項目名を選択するとラベルの表示内容が切り替わります。

作図

新規作図情報

1 編集 削除

アイコンのラベルを表示

ラベルとして表示する属性: name

大 中 小

Aショッピングセンター

営業時間 10時~22時



初期表示は「name」（名称）となります。

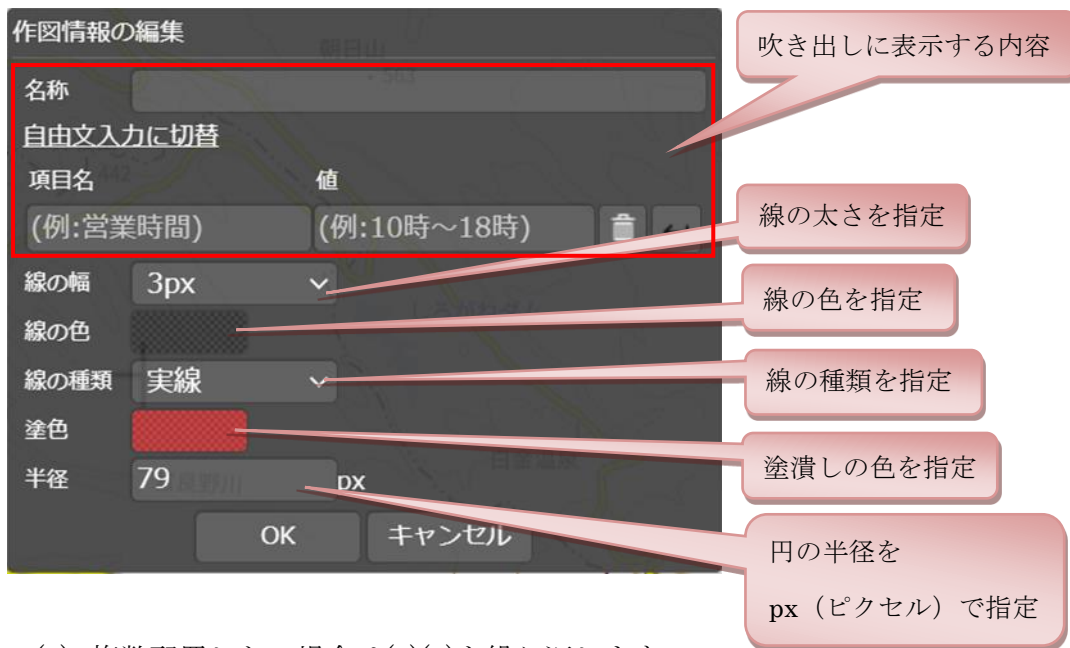
一部のアイコンだけに存在する項目を選択した場合、当該項目が存在しないアイコンのラベルは非表示となります。



3.2.2 マーカー（円）を追加

次の手順で操作します。

- (1) 「マーカー（円）を追加」ボタンをクリックします。
- (2) 中心点の位置でマウスの左ボタンを押下します。その状態でマウスポインタを移動するとポインタの位置を円周上の点とする円が追加され、マウスの左ボタンを離すことで円の半径（px）が確定します。
- (3) マーカー（円）の情報入力画面が表示されるので、マーカー（円）のスタイルと吹き出しに表示する内容を入力します。吹き出し内容の編集についての詳細は「[3.2.1 マーカー（アイコン）を追加](#)」をご参照ください。



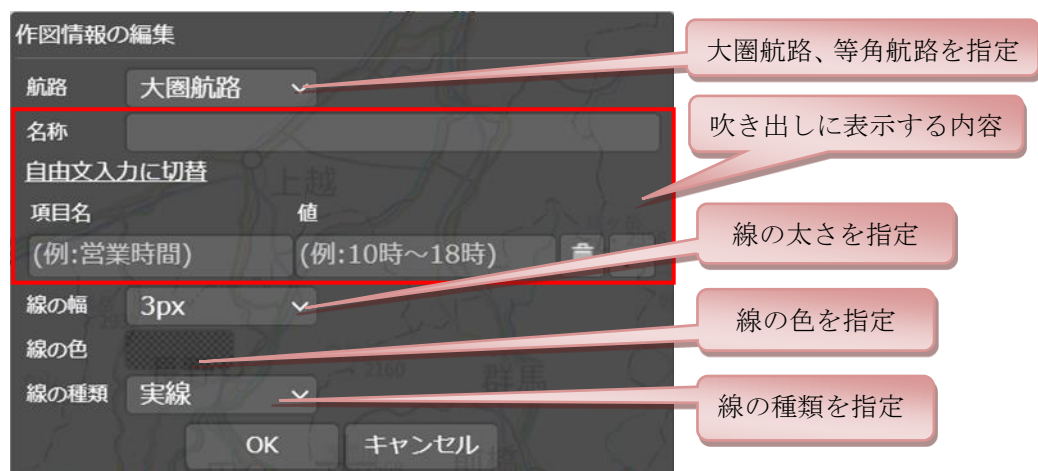
- (4) 複数配置したい場合は(2)(3)を繰り返します。
- (5) 「マーカー（円）を追加」ボタンをクリックすると、終了します。

3.2.3 線を追加

次の手順で操作します。

- (1) 「線を追加」ボタンをクリックします。
- (2) 地図上の点をクリックしていくと、その順番に線がつながれます。
※ 任意の地点を右クリックすると、直前の選択地点をキャンセルできます。
- (3) 最後の点でダブルクリックすると、線が確定し、線オブジェクトが作成されます。
- (4) 線の情報入力画面が表示されるので、線のスタイルを入力します。

吹き出し内容の編集についての詳細は「[3.2.1 マーカー（アイコン）を追加](#)」をご参照ください。



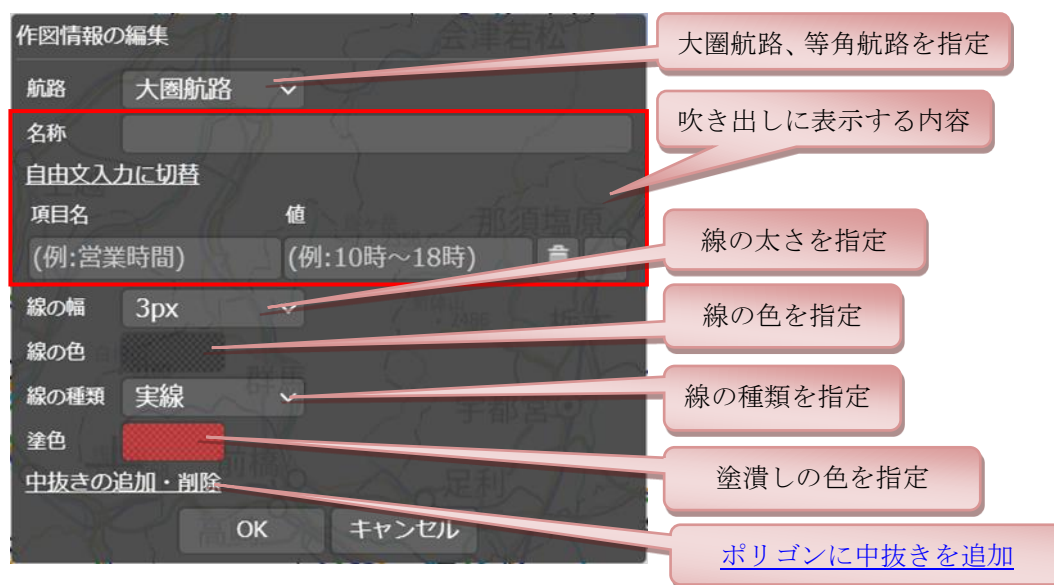
- (5) 複数配置したい場合は(2)(3)(4)を繰り返します。
- (6) 「線を追加」ボタンをクリックすると、終了します。

※「等角航路」の表示設定はファイルに保存されません。保存したファイルを読み込んだ後は、再度設定を変更する必要があります。

3.2.4 ポリゴンを追加

次の手順で操作します。

- (1) 「ポリゴンを追加」ボタンをクリックします。
- (2) 地図上の点をクリックしていくと、その点を結ぶ多角形が形成されていきます。
※ 任意の地点を右クリックすると、直前の選択地点をキャンセルできます。
- (3) 最後の点でダブルクリックすると、ポリゴンオブジェクトが作成されます。
- (4) ポリゴンの情報入力画面が表示されるので、ポリゴンのスタイルを入力します。
吹き出し内容の編集についての詳細は「[3.2.1 マーカー \(アイコン\) を追加](#)」をご参照ください。



- (5) 複数配置したい場合は(2)(3)(4)を繰り返します。
- (6) 「ポリゴンを追加」ボタンをクリックすると、終了します。

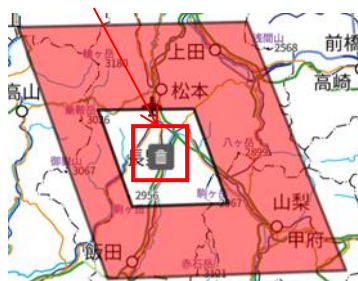
※「等角航路」の表示設定はファイルに保存されません。保存したファイルを読み込んだ後は、再度設定を変更する必要があります。

ポリゴンに中抜きを追加

- (1) ポリゴンの内側の点をクリックしていくと、その点を結ぶ多角形が形成されていきます。
※ 任意の地点を右クリックすると、直前の選択地点をキャンセルできます。



- (2) 最後の点でダブルクリックすると、中抜きが作成されます。
※ 「削除」ボタンをクリックすると、中抜きが削除されます。



- (3) 「現在の状態で中抜きを確定」ボタンをクリックします。



3.2.5 円を追加

次の手順で操作します。

- (1) 「円を追加」ボタンをクリックします。
- (2) 中心点の位置でマウスの左ボタンを押下します。その状態でマウスポインタを移動すると、ポインタ位置を円周上の点とする円が追加され、マウスの左ボタンを離すことで円の半径（km か m）が確定します。
- (3) 円の情報入力画面が表示されるので、円のスタイルと吹き出しに表示する内容を入力します。吹き出し内容の編集についての詳細は「[3.2.1 マーカー \(アイコン\) を追加](#)」をご参照ください。

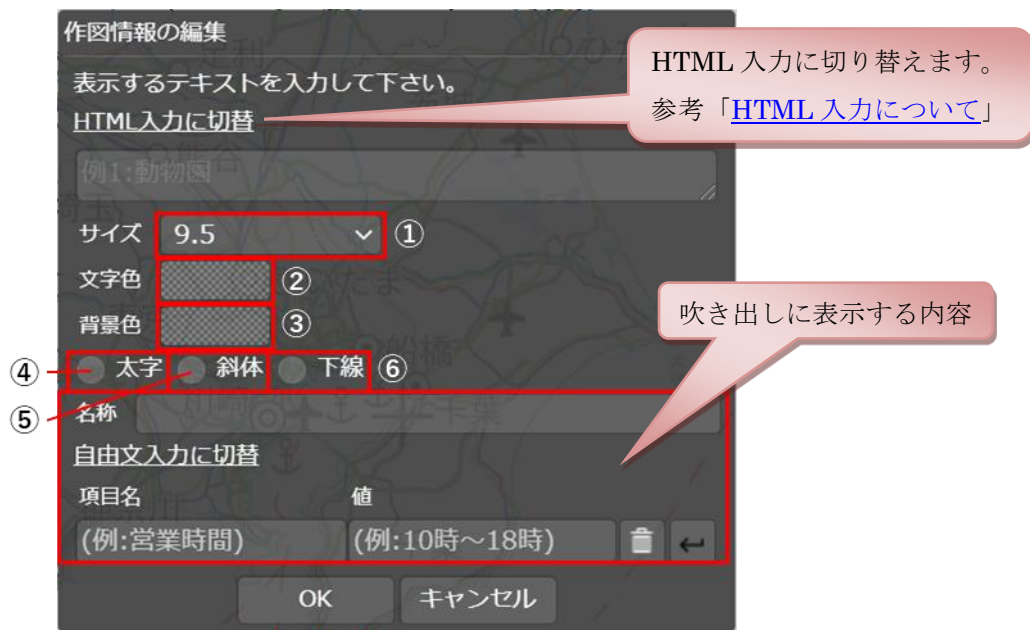


- (4) 複数配置したい場合は(2)(3)を繰り返します。
- (5) 「円を追加」ボタンをクリックすると、終了します。

3.2.6 テキストを追加

次の手順で操作します。

- (1) 「テキストを追加」ボタンをクリックします。
- (2) テキストを配置したい場所を地図上でクリックします。
- (3) テキストの情報入力画面が表示されるので、テキストとスタイルと吹き出しに表示する内容を入力します。吹き出し内容の編集についての詳細は「[3.2.1 マーカー \(アイコン\) を追加](#)」をご参照ください。



No.	名称	説明
①	サイズ	文字サイズをプルダウンから選択します。(初期値は 9.5)
②	文字色	文字の色を指定します。
③	背景色	背景色を指定します。
④	太字	チェックを入れると文字を太くします。
⑤	斜体	チェックを入れると文字を斜めにします。
⑥	下線	チェックを入れると文字の下に線を引きます。

- (4) (2)でクリックした場所にテキストが配置されます。
- (5) 複数配置したい場合は(2)(3)を繰り返します。
- (6) 「テキストを追加」ボタンをクリックすると、終了します。

HTML について

HTML 入力にて画面に表示させるテキストを作図可能ですが、HTML タグが対応している項目はテキスト入力時に設定項目の存在する下記項目となります。

※下記以外の対応していない HTML タグを設定した場合、地図上に正常に表示できないことがあります。

項目	HTML 入力時
サイズ	font-size:
文字色	color:
背景色	background-color:
太字	font-weight:bold
斜体	font-style:italic
下線	text-decoration:underline

読み込んだ作図データの内容に対応していない HTML タグがあった場合、編集の有無によって HTML 内容が変更されます。

- ・ 編集有り：内容は破棄され新規に作成されます。
- ・ 編集無し：地図上には正常に表示されないが保存すると読み込んだ内容がそのまま出力されます。

※編集有りは、作業情報の編集ウィンドウの「OK」ボタンを押下した場合となります。

※編集無しは、何も行わずにファイルに保存。もしくは作業情報の編集ウィンドウの「キャンセル」ボタンを押下した場合となります。

3.2.7 フリーハンドで線を追加

次の手順で操作します。

- (1) 「フリーハンドで線を追加」ボタンをクリックします。
- (2) 開始点の位置でマウスの左ボタンを押下します。その状態でマウスポインタを移動します。マウスの左ボタンを離すことで線オブジェクトが確定します。
- (3) 線の情報入力画面が表示されるので、線のスタイルと吹き出しに表示する内容をに入力します。情報の編集についての詳細は「[3.2.3 線を追加](#)」を、吹き出し内容の編集についての詳細は「[3.2.1 マーカー \(アイコン\) を追加](#)」をご参照ください。



- (4) 複数配置したい場合は(2)(3)を繰り返します。
- (5) 「フリーハンドで線を追加」ボタンをクリックすると、終了します。

※「等角航路」の表示設定はファイルに保存されません。保存したファイルを読み込んだ後は、再度設定を変更する必要があります。

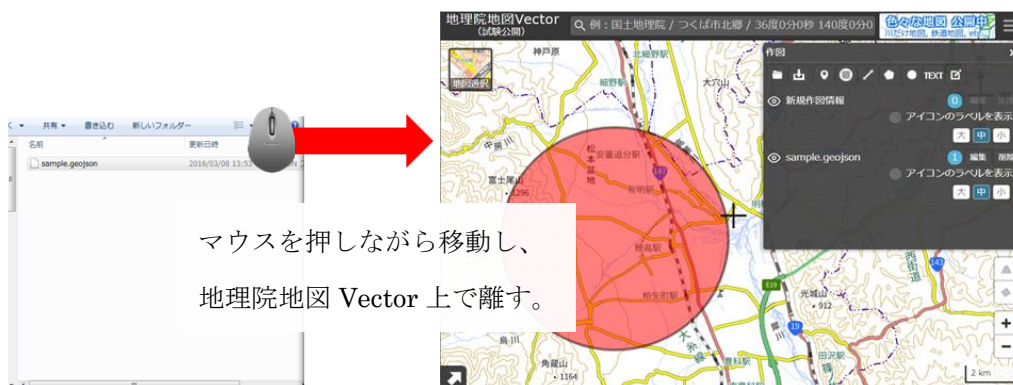
3.2.8 ファイルから読み込み

- (1) KML、GeoJSON、GeoTIFF または CSV ファイルを地図上に表示します。次の手順で操作します。読込んだ KML、GeoJSON または CSV ファイルは、「作図」機能で編集することができます。詳細は 22 ページ (3.2 作図) を参照してください。
- (2) 「ファイルからデータを読み込」 ボタンをクリックします。



- (3) 読み込みファイルを選択する画面が表示されます。読み込むファイルを選択します。
- (4) 「上記の内容で読み込」 ボタンをクリックします。

※GeoJSON、KML、GeoTag 付き JPEG、CSV、GeoTIFF ファイルを地理院地図 Vector 上にドラッグ&ドロップしても表示可能です。



※KMP(https://maps.gsi.go.jp/help/pdf/14Mar2017_kmp.pdf)に則っていないファイルは保存時に属性が削除されることがあります。

※GeoTIFF ファイルについては、一部の圧縮形式の場合や、画像サイズが大きい場合など、読み込めないものがあります。

※項目名が重複する場合、より後の値のみ表示・保存されます。

※CSV ファイルの読込について

緯度経度または所在地の住所が記述された CSV ファイルを読み込み、各地点にマーカーを表示します。緯度経度の情報がない場合、CSIS が提供するアドレスマッチングサービスを利用して、住所の情報からポイントデータを作成します。

・先頭行に「緯度」「経度」の属性名がある CSV ファイルの読込

緯度と判定される属性名：「緯度」「lat」「latitude」

経度と判定される属性名：「経度」「lng」「lon」「longitude」

施設名,住所,緯度,経度

〇〇美術館,〇〇市××2 丁目-1-3,41.08852271,143.29854623

××公園,□□市〇〇1-4,42.04435897,139.3579051

...

※緯度経度の値は、下記の例のように度単位の十進数表記で入力してください。

例:「36.104444」

(「36度6分16秒」等の度分秒表記には対応していません。)

The screenshot shows a dialog box titled "CSVファイル読込 sample1.csv". At the top, there is a field for "アイコン:" with a red circle icon and a "拡大率:" dropdown menu set to "1.0". Below this, the text "緯度及び経度の列を選択してください。" is displayed. A table shows two columns: "緯度" and "経度", with two rows of data: "41.08852271" and "143.29854623" in the first row, and "42.04435897" and "139.3579051" in the second row. At the bottom, there is a button labeled "上記の内容で読込開始". Three callout boxes provide instructions: "アイコンと、拡大率を指定します。" points to the icon and zoom fields; "緯度、経度の列を選択します。" points to the table headers; and "CSV ファイルを読込開始します。" points to the "上記の内容で読込開始" button.

緯度	経度
41.08852271	143.29854623
42.04435897	139.3579051

- ・先頭行に「住所」の属性名がある CSV ファイルの読込

住所と判定される属性名：「住所」「所在地」「addr」「address」

施設名,住所

〇〇美術館,〇〇市××2丁目-1-3,41.08852271,143.29854623

××公園,□□市〇〇1-4,42.04435897,139.3579051

...

The screenshot shows a dialog box titled "CSVファイル読込 sample2.csv". It features a red icon and a zoom level of 1.0. A dropdown menu is open, showing "住所" selected. A button at the bottom says "上記の内容で読込開始". Three callout boxes provide instructions: "アイコンと、拡大率を指定します。", "住所の列を選択します。", and "CSV ファイルを読込開始します。".

・ 1 行目に属性名がなく緯度経度と思われるデータがある CSV ファイルの読込

〇〇美術館,43.05512271,141.2964823
 ××公園,43.04435547,141.3562051
 □□小学校, 43.06025156,141.3304243
 . . .

※緯度経度の値は、下記の例のように度単位の十進数表記で入力してください。

例: 「36.104444」

(「36度6分16秒」等の度分秒表記には対応していません。)

CSVファイル読込 sample3.csv

アイコン: 拡大率: 1.0

緯度及び経度の列を選択してください。
緯度及び経度の列がない場合は住所の列を選択してください。

全2件中2件表示

住所	緯度	経度
なし	2列目	3列目
	36.061648	140.050632
	36.061769	140.050085

上記の内容で読込開始

アイコンと、拡大率を指定します。

住所、緯度、経度の列を選択します。

CSV ファイルを読込開始します。

・ その他 CSV ファイルの読込

CSVファイル読込 sample4.csv

アイコン: 拡大率: 1.0

住所の列を選択してください。

全2件中2件表示

住所
title
東京都豊島区東池袋4-20
東京都豊島区東池袋4-30

上記の内容で読込開始

アイコンと、拡大率を指定します。

住所列を選択します。

CSV ファイルを読込開始します。

3.2.9 外部からの読込

外部サーバに配置されている KML、GeoJSON ファイルを地図上に表示します。読込んだ KML、GeoJSON ファイルは、「作図」機能で編集することができます。詳細は (3.2 作図) を参照してください。

※外部サーバ側の設定によっては読み込めない場合があります。

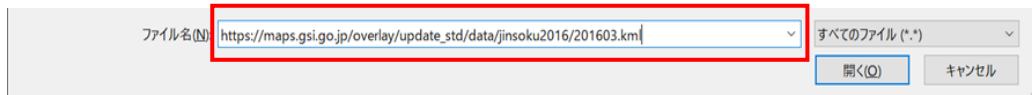
- アドレスバーに外部ファイル URL を入力
地理院地図 VectorURL の末尾に下記を入力し Enter ボタンを押下。
最大 5 つ同時に読み込むことが可能です。



- ファイルからデータを読込にて外部ファイル URL を入力
(1) 「ファイルからデータを読込」 ボタンをクリックします。



- (2) 読込ファイルを指定する画面が表示されます。ファイル名に外部ファイル URL を入力し、「開く」ボタンをクリックします。



- (3) 「上記の内容で読込」 ボタンをクリックします。

3.2.10 ファイルに保存

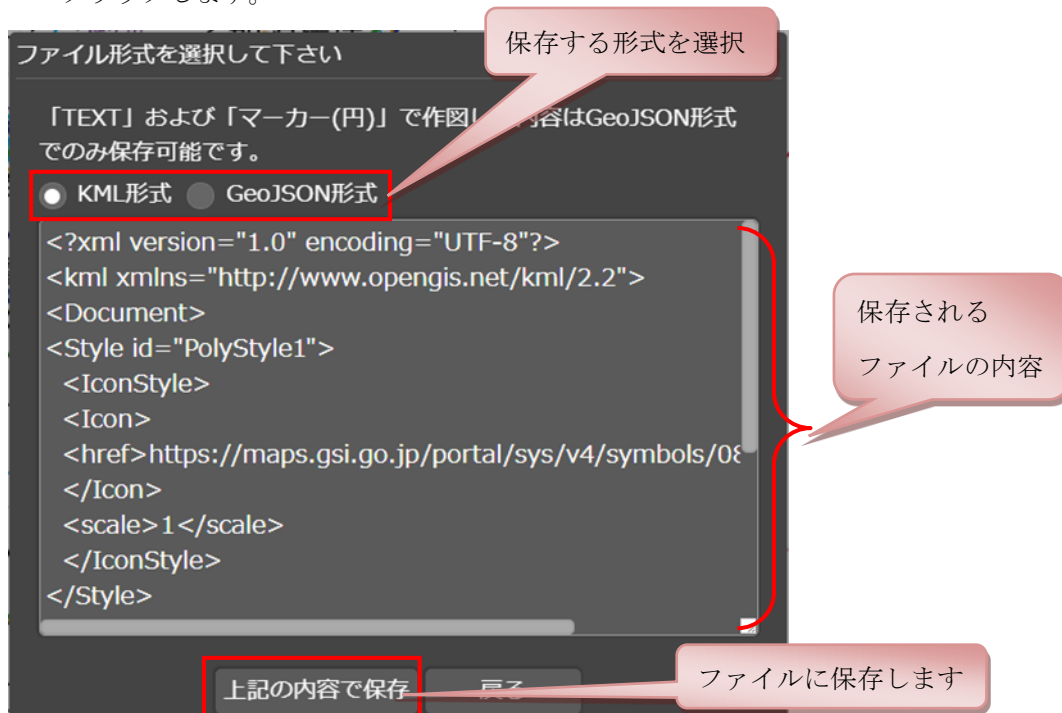
作図機能を使って作成した作図情報をファイルに保存します。

次の2通りの形式で保存できます。

- ・ KML 形式
- ・ GeoJSON 形式

次の手順で操作します。

- (1) KML 形式又は GeoJSON 形式を選択します。
- (2) テキストエリアに表示された内容でよろしければ「上記の内容で保存」ボタンをクリックします。



※ テキスト、マーカー（円）は GeoJSON 形式でのみ保存することができます。

※ GeoJSON 形式で保存時に<altitudeMode>、<altitude>等の KML 固有の要素は削除されます。

※ ブラウザによっては、「上記の内容を保存」ではなく「クリップボードにコピー」と表示される場合があります。「クリップボードにコピー」をクリックすると枠内のテキストがコピーされるので、適当なテキストエディタを開いて貼り付け、「ooo.kml」（KML 形式の場合）または「ooo.geojson」（GeoJSON 形式の場合）というファイル名で保存してください。

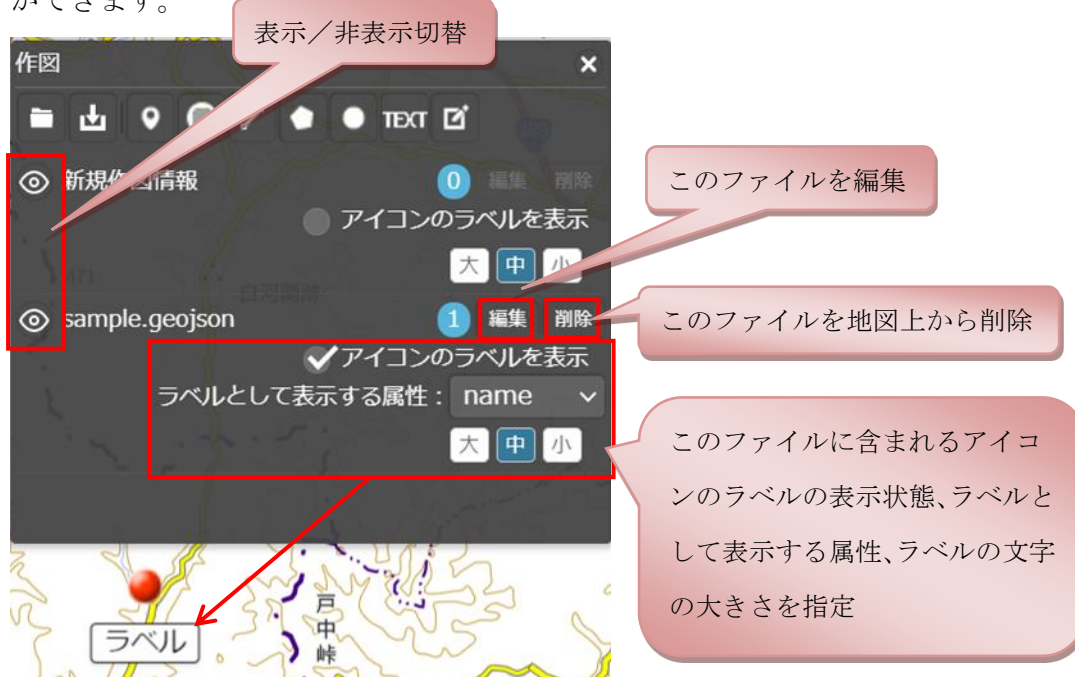
(3) ファイル名を入力します。

(4) 「上記の内容で保存」ボタンをクリックします。

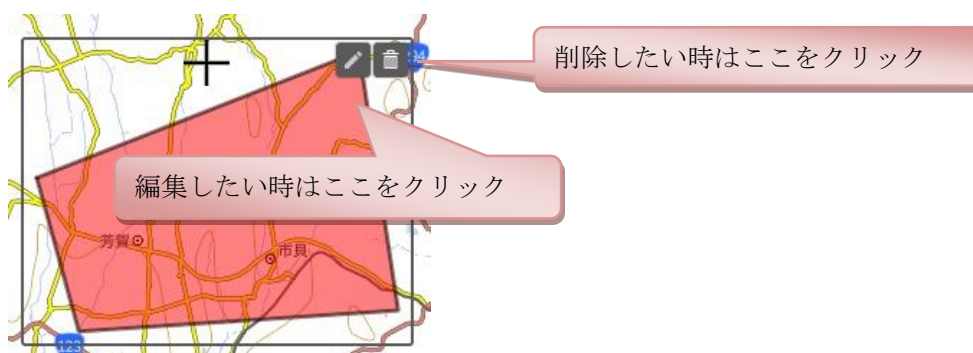
3.2.11 作図・ファイル情報の管理

ファイル名の左側のアイコンをクリックすることにより、その内容の地図上への表示／非表示を切替ることができます。

また、ファイル名の右側にある削除ボタンをクリックすると、一覧から削除することができます。



ファイルの内容を編集する時は、ファイル名の右側にある「編集」ボタンをクリックし、編集するオブジェクトを選択して編集を行います。



3.3 計測

3.3.1 距離の計測

距離が選択された状態で、地図上の地点をクリックしていくと、その地点を順番に結んだ線分の距離が表示されます。地点を確定させるには、最後の地点をダブルクリックします。



※任意の地点を右クリックすると、直前の選択地点をキャンセルできます。

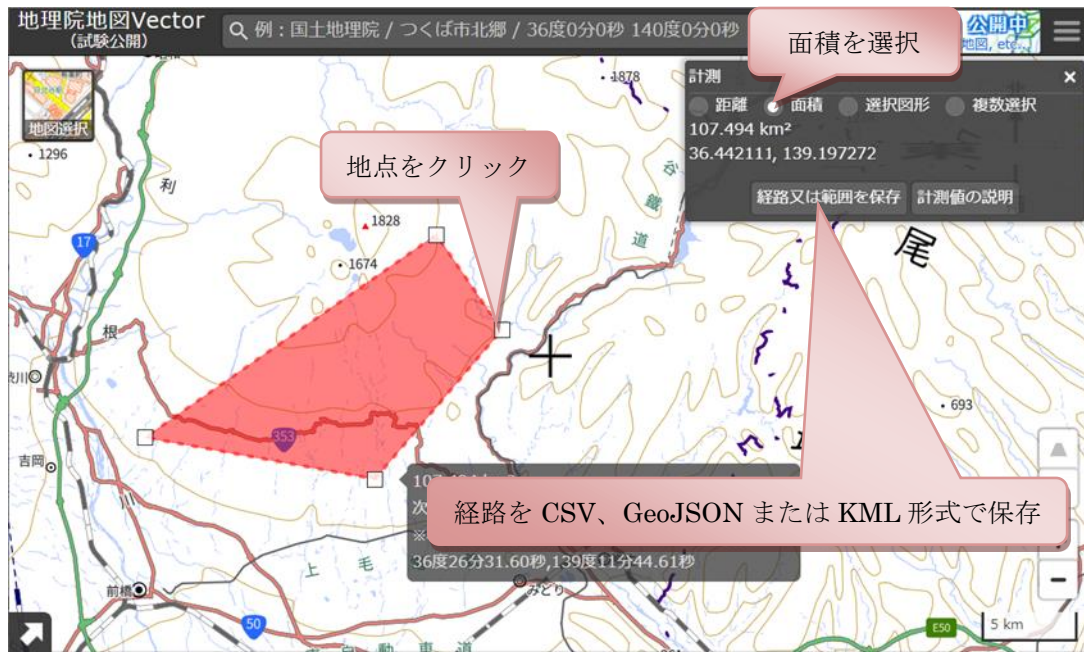
※計測機能については地理院地図 Vector も地理院地図と同じ手法な為、
詳細は以下のマニュアルをご覧ください。

【地理院地図で距離を計測する方法】

https://maps.gsi.go.jp/help/pdf/GSIMaps_measurement.pdf

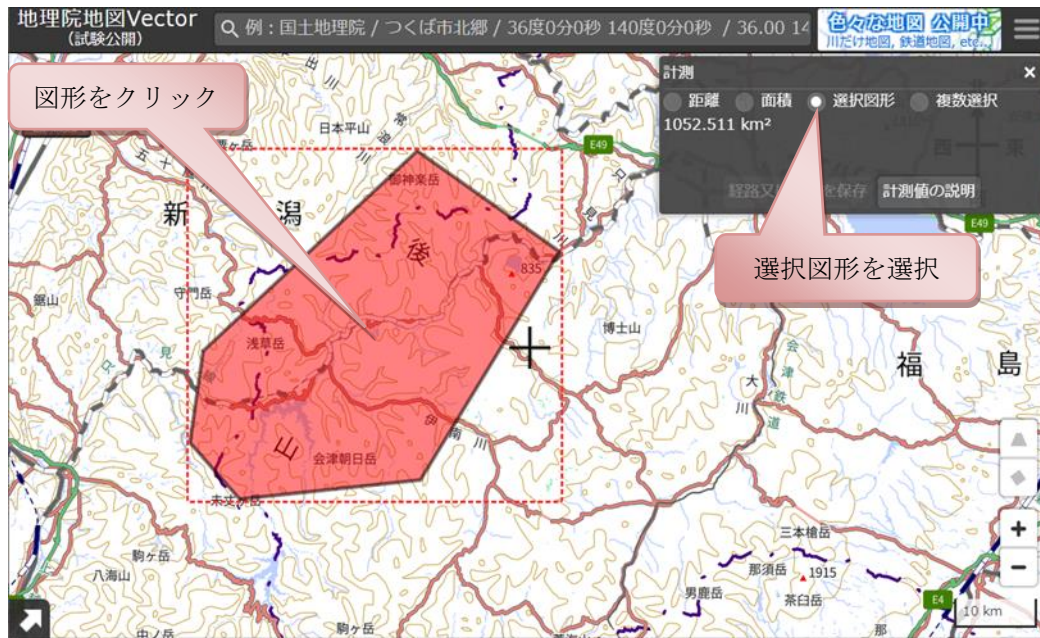
3.3.2 面積の計測

面積が選択された状態で、地図上の地点をクリックしていくと、その地点を囲む多角形の面積が表示されます。多角形を確定させるには、最後の地点をダブルクリックします。



3.3.3 選択図形の計測

「選択図形」が選択された状態で、地図上の図形をクリックすると、その距離又は面積が表示されます。



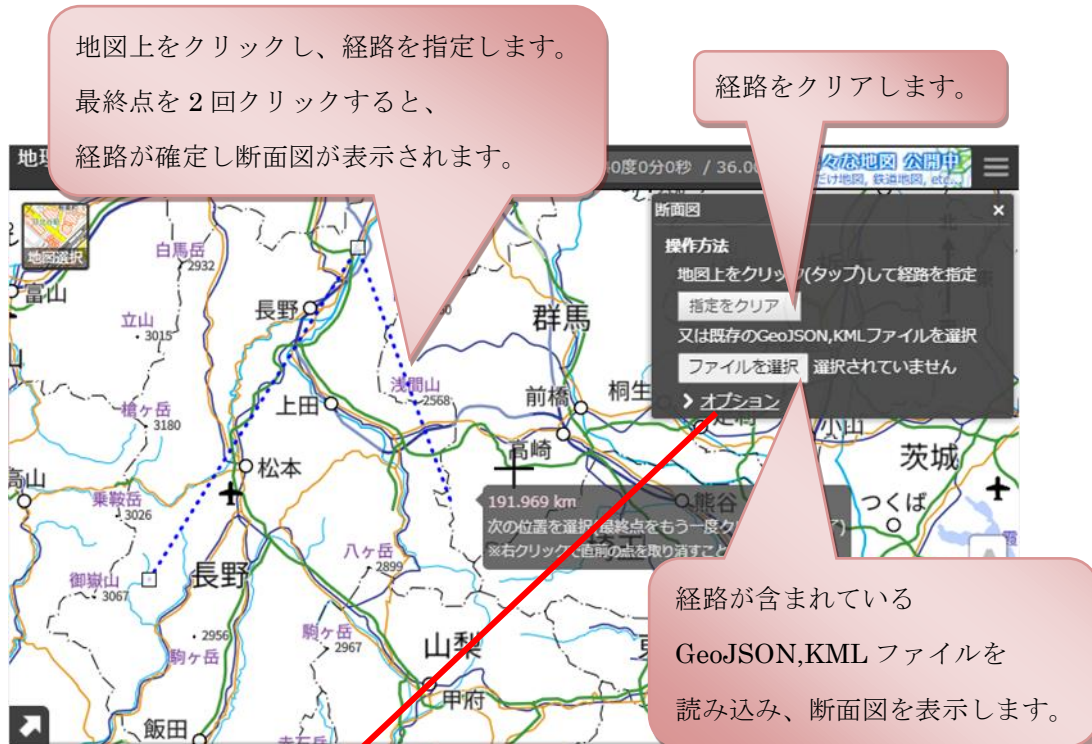
3.3.4 図形を複数選択して計測

「複数選択」が選択された状態で、地図上の図形を複数クリックすると、その面積の合計が表示されます。

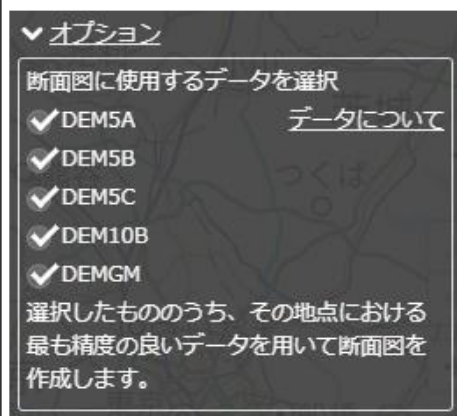


3.4 断面図

指定した経路の断面図を表示します。



オプションをクリックし、断面図に使用するデータは選択します。



断面図画面

※水平方向は地球が回転楕円体であることを考慮した距離です。

高さ方向の倍率を指定します。

縦軸の開始標高を指定します。

データ:DEM5B,DEM5C,DEM10B,DEMGM
縦横比 32 : 1 等倍に戻す 縦軸メモリ 0m 最低標高

縦軸の長さ (m)

2000
1500
1000
500
20

0 12 24 36 48 60 72 84 96

1705.66m
DEMSA(11)

断面図上マウス位置の標高を表示します。
(下段は使用した標高タイルのデータソースとそのズームレベルです。)

経路を GeoJSON 又は KML 形式で保存します。

断面図画像を保存します。

指定した点の位置や点... 10等分した... の標高値よ...
りグラフを作成しています

初期状態に戻す グラフを保存 経路を保存

縦横比、縦軸の長さ、縦軸メモリを初期状態に戻します。

3.5 外部タイル

URL を指定もしくはレイヤ定義ファイルを選択して外部サイト上のタイルデータを読み込むことができます。読み込み可能なタイルは、HTTPS サイトにある地理院タイル仕様 (<https://maps.gsi.go.jp/development/siyou.html>) と同様の XYZ 方式です。この方式で配信されているデータは、G 空間情報センター (<https://www.geospatial.jp/>) 等で検索することができます。なお、外部タイルを読みこむ際は、当該タイルデータの利用規約に基づき適切にご利用ください。

外部タイル URL 例：

<https://tile.geospatial.jp/nankaitrough/sindobunpu/{z}/{x}/{y}.png>

(G 空間情報センター：内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」強震断層モデル (1)データセット A 震度の最大値の分布図)

(任意) レイヤ名を指定します。

(必須) タイルの URL を入力します。

(任意) 「オプション」をクリックし、南西原点 (デフォルトは北西原点)、minZoom、maxZoom、maxNativeZoom を指定します。

外部タイル設定保存

外部タイルの情報をレイヤ定義ファイル形式で保存します。
※ここで保存したファイルを読み込めます。

3.6 印刷

印刷用レイアウトは下図のとおりです。印刷ボタンをクリックすると印刷用ページになります。

用紙サイズ・向きに合わせて選択します。

地理院地図
Vector

用紙サイズ: A4縦(標準) ▼ 印刷 元の画面に戻る

「用紙サイズ」で選択したサイズや向きで印刷するには、印刷用レイアウトのプロパティの用紙サイズや向きを設定する必要があります。

方位記号を追加

印刷を開始します。

元の画面に戻ります。

地図の右下に方位記号を追加します。

30 km

3.7 画像として保存

表示中の地図の「表示されている範囲全体」もしくは、「範囲を固定」、「大きさを固定」して画像を生成します。

表示されている範囲全体

現在表示している範囲全体を画像として保存します。

「表示されている範囲全体」にチェックを入れます。

範囲を指定して画像を保存します。

画像の世界ファイル*を保存します。

画像ファイルを PNG 形式で保存します。

画像として保存

- 表示されている範囲全体
- 範囲を固定
- 大きさを固定

上記の内容で画像を生成 閉じる

↓ ファイルを保存する準備が整いました

- 画像に「地理院地図」クレジットを表示

画像を保存

ワールドファイルを保存

*保存したファイルは、国土地理院コンテンツ利用規約に従ってご利用ください。
[地理院タイルのご利用について](#)
[ワールドファイルについて](#)

範囲を固定

緯度経度の範囲を固定して画像として保存します。

画像にする範囲を拡大・縮小します。

「範囲を固定」にチェックを入れます。

緯度経度の範囲を入力します。

画像にする範囲をドラッグして移動します。

画像として保存

- 表示されている範囲全体
- 範囲を固定
- 大きさを固定

緯度： 35.782672 ~ 36.211451

経度： 139.599187 ~ 140.129169

大きさ： 256 x 256

上記の内容で画像を生成 閉じる

大きさを固定

大きさを固定して画像として保存します。



※ GIS ソフトで入力する際の EPSG コードは「3857」を指定してください。

このワールドファイルは簡易に作成されたファイルですので、参考程度にお使いください。

※ブラウザや PC のディスプレイの拡大率を 100%にしてご利用ください。

【参考】 OS (パソコン) に備わっている画面キャプチャの機能をご利用いただくことも可能です。画面キャプチャ機能の詳細については、下記のリンク等、各 OS のサイト等をご参照下さい。

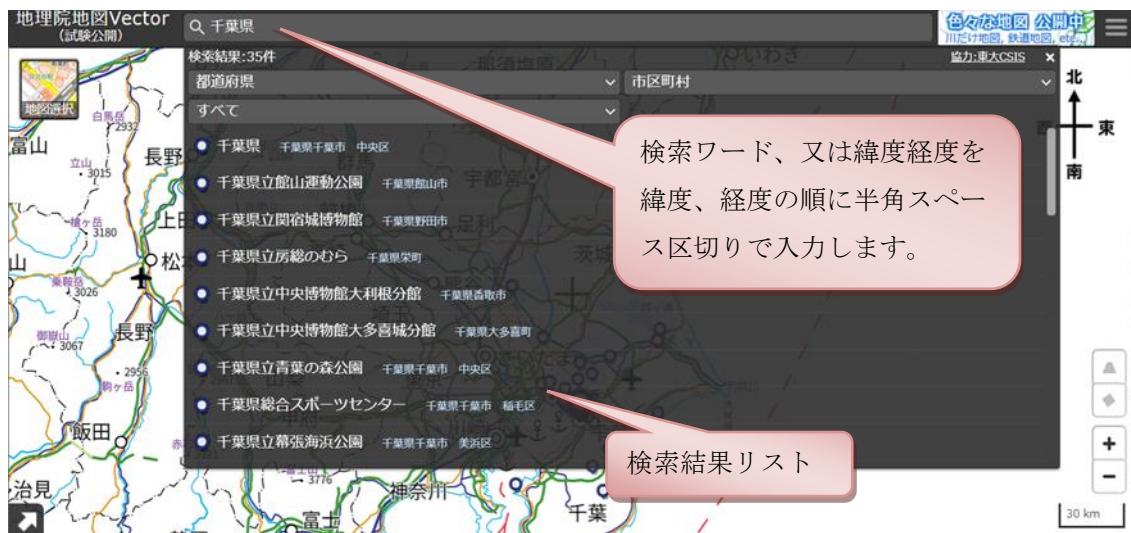
【Windows10 / Windows8.1 / Windows7】

[Snipping Tool を使ってスクリーンショットをキャプチャする](#)

【OS X】 [OS X : スクリーンショットを撮る方法](#)

4. 検索バー

住所や地名、経緯度、UTM ポイントで検索し、その位置を地図上で表示します。



検索手順は次の通りです。


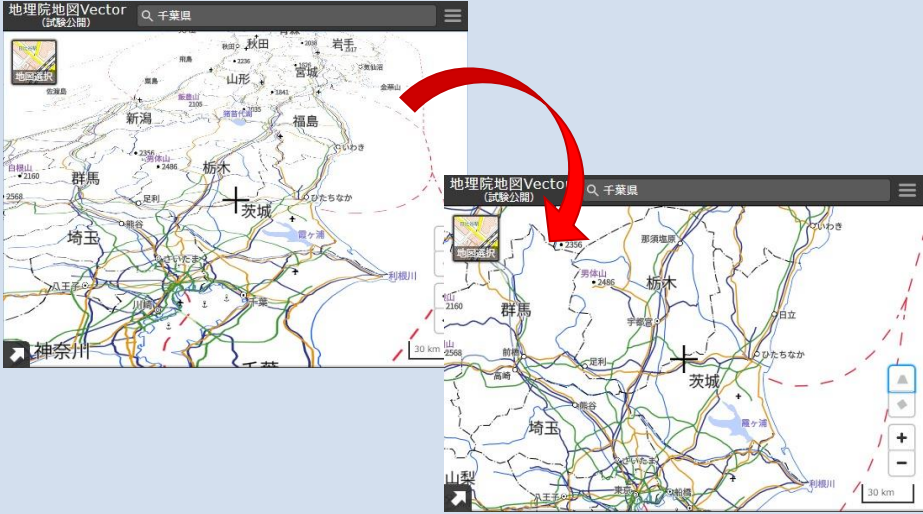

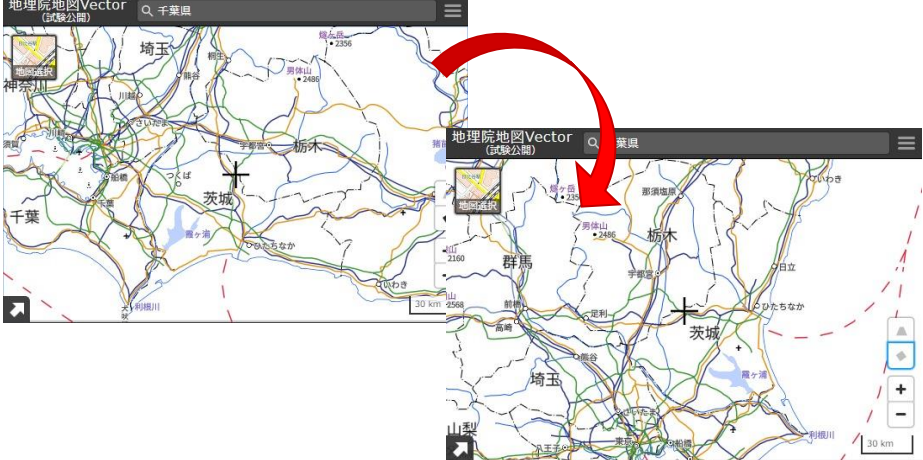
- (1) 検索ワード入力ボックスに検索したい住所等を入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。
- (2) 緯度経度の場合、その地点へ地図が移動します。その他の文字列の場合は検索結果を表示するダイアログが開きます。
- (3) 都道府県・市区町村・すべて/居住地名/居住地名以外で絞り込みたい場合はセレクトボックスからそれぞれ選択します。
- (4) 検索結果をクリックすると、地図の中心がその地点へ移動します。

緯度経度の入力下記に 3 種類に対応しています。

- ・ 緯度・経度を半角スペース区切り、度単位で入力
(36.104 140.085 等)
- ・ 緯度・経度を半角カンマ区切り、度単位で入力
(36.104,140.085 等)
- ・ 緯度・経度をスペース区切り、度分秒で入力
(36度 6分 14.40秒 140度 5分 6.00秒 等)

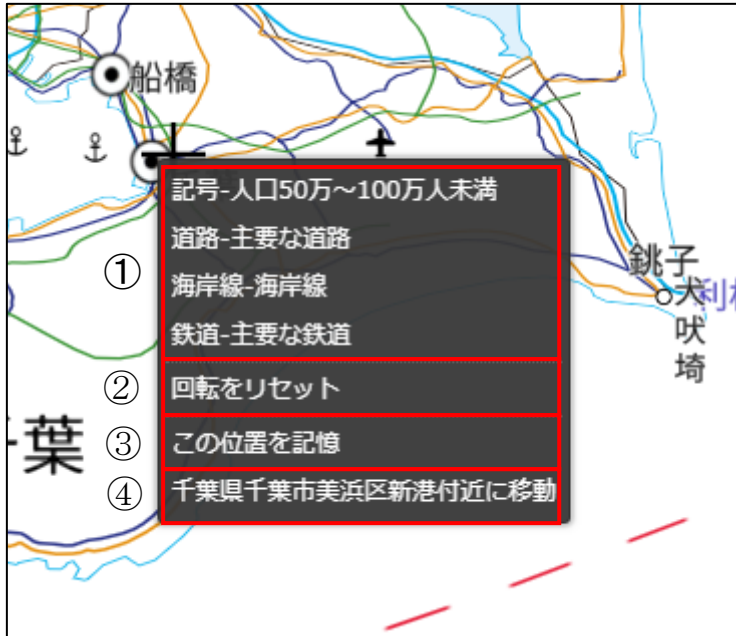
5. 地図の回転をリセット

右マウスドラッグで回転した地図を元に戻します。

アイコン	解説
	<p>地図が傾いて表示されている場合、画面に向くよう戻します。</p> 
	<p>地図の上方向が北でない場合、北になるよう戻します。</p> 

6. 地図右クリックメニュー

地図上を右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

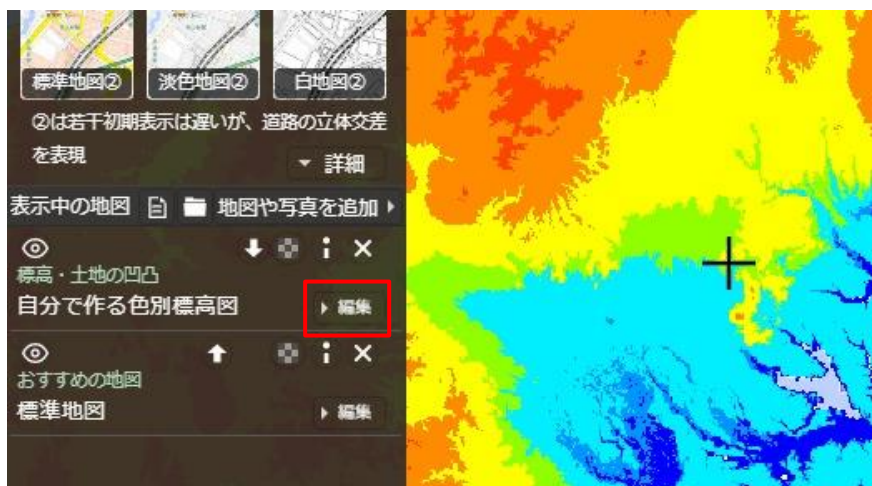


No.	解説
①	右クリックした位置の地物一覧。 項目をクリックすると編集画面を表示します。
②	回転をリセットします。 ※この項目は地図が回転している場合のみ表示されます。
③	右クリックした位置を記憶します。 記憶した位置は④に表示されます。
④	③で記憶した位置。クリックすると移動します。 ※この項目は③で記憶した場合のみ表示されます。

7. 自分で作る色別標高図

「地図や写真を追加」から「自分で作る色別標高図」を表示します。

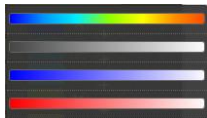
(再度編集する場合は「表示中の地図」から「編集」ボタンをクリックします)



スタイルの編集



No.	名称	説明
①	ファイル読み込	②で保存したファイルを読み込みます。
②	ファイル保存	現在のスタイルをファイルに保存します。

③	凡例保存	現在のスタイルを凡例画像として保存します。 ※保存場所が選択できない場合は、ブラウザの設定を確認してください。
④	自動作成	表示範囲の最低標高と最高標高から自動で色分けします。
⑤	低い範囲を表示	画面中央の標高より低い範囲を自動で着色します。
⑥	初期状態に戻す	現在のスタイルを破棄し、読込時の初期状態に戻します。
⑦	標高しきい値入力	しきい値となる値を入力します。
⑧	色の選択	色を選択します。
⑨	行の削除	行を削除します。
⑩	行の挿入	行を挿入します。 ※前後の行の色を基に自動で色を決定します。前後の行の色が「透明」の場合は挿入できません。
⑪	グラデーション	グラデーションを付けます。
⑫	陰影	陰影起伏図を利用し陰影を付けます。 ※日本周辺のみ対応
⑬	地図に反映	現在のスタイルを地図に反映します。
⑭	降順に並べる	降順に並べ替えます。
⑮	カラーパターン	 カラーパターンから選択します。

8. 空中写真の時系列切替え表示

情報リストから「時系列比較」を表示し、年代別写真をスライダで切り替えます。

つまみをドラッグして移動し年代
を選択します。



表示する年代をクリックすると、写真が表示
されます。
(写真が存在しない年代は、グレーアウトさ
れています。)